工学研究科

・カリキュラム
・スタッフ

別表第７　　工学研究科

第１　機械工学専攻博士課程前期の授業科目、単位及び履修方法

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
材料力学専修	材料力学特別研究	8	非専修	破壊力学	2
	材料力学特論Ⅰ	2		応用数学特論Ⅰ	2
	材料力学特論Ⅱ	2		応用数学特論Ⅱ	2
流体工学専修	流体工学特別研究	8		応用物理学特論Ⅰ	2
	流体力学特論	2		応用物理学特論Ⅱ	2
	流体機械特論	2		解析力学	2
熱工学専修	熱工学特別研究	8		応用力学特別講義	2
	熱工学特論	2		エネルギー工学特別講義	2
	熱機関特論	2		設計工学特別講義	2
機械設計工作法専修	機械設計・工作法特別研究	8			
	機械設計特論	2			
	工作法特論	2			
機械力学制御専修	機械力学・制御特別研究	8			
	機械力学特論	2			
	機械制御特論	2			

1　学生の標準修業年限は２年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得するものとする。

2　主要科目のうちから１専修部門（特別研究・特論）を選定し、これをその学生の専修科目とする。

3　専修科目の特別研究担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受けるものとする。

4　第１項の30単位は、専修部門の全科目のほか、履修する他の専修部門の科目（特別研究を除く）及び履修する特修科目の合計単位とする。指導教員が必要と認めた場合は、他の専攻及び研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

5　修士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

第２　電気工学専攻博士課程前期の授業科目、単位及び履修方法

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
電気基礎 専修	電気基礎特別研究	6	非専修	応用数学特論	2
	電気基礎特別実験	4		応用物理学特論	2
	電気基礎特論Ⅰ	4		電磁解析特論	2
	電気基礎特論Ⅱ	4		電気回路特論	2
パワーエレクトロニクス 専修	パワーエレクトロニクス特別研究	6		放電プラズマ特論	2
	パワーエレクトロニクス特別実験	4		電気絶縁特論	2
	パワーエレクトロニクス特論Ⅰ	4		自動制御特論	2
	パワーエレクトロニクス特論Ⅱ	4		環境電気特論	2
電力工学 専修	電力工学特別研究	6		パルス･ディジタル応用特論	2
	電力工学特別実験	4		電気機器応用特論	2
	電力工学特論Ⅰ	4		信号解析特論	2
	電力工学特論Ⅱ	4		電気エネルギーシステム特論Ⅰ	2
応用電気工学 専修	応用電気工学特別研究	6		電気エネルギーシステム特論Ⅱ	2
	応用電気工学特別実験	4			
	応用電気工学特論Ⅰ	4			
	応用電気工学特論Ⅱ	4			

1　学生の標準修業年限は２年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得しなければならない。

2　主要科目のうちから一つの専修部門（特別研究・特別実験・特論）を選定し、これをその学生の専修科目とする。

3　専修科目の特別研究担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受けるものとする。

4　第１項の30単位は、専修科目18単位及び特修科目12単位以上とし、指導教員が必要と認めた場合は、他の専修又は専攻及び研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

5　修士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

第３　電子情報工学専攻博士課程前期の授業科目、単位及び履修方法

主要科目			共通科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
集積回路専修	集積回路特別研究Ⅰ	4	応用数学特論Ⅰ	2
	集積回路特別研究Ⅱ	6	応用数学特論Ⅱ	2
	半導体工学特論	2	電子情報工学特別講義Ⅰ	2
	集積回路工学特論	2	電子情報工学特別講義Ⅱ	2
	電子回路設計特論	2	技術マネージメント特論	2
	固体電子回路特論	2	システム開発特別演習	2
	応用物理学特論	2	ＩＴプロジェクト管理特論	2
通信システム専修	通信システム特別研究Ⅰ	4	システム開発特別実習	2
	通信システム特別研究Ⅱ	6	プロジェクト型開発特別演習・実習	4
	移動通信システム特論	2		
	通信工学特論	2		
オプトエレクトロニクス専修	オプトエレクトロニクス特別研究Ⅰ	4		
	オプトエレクトロニクス特別研究Ⅱ	6		
	光エレクトロニクス特論Ⅰ	2		
	光エレクトロニクス特論Ⅱ	2		
計算機システム専修	計算機システム特別研究Ⅰ	4		
	計算機システム特別研究Ⅱ	6		
	計算機工学特論Ⅰ	2		
	計算機工学特論Ⅱ	2		
情報アーキテクチャ専修	情報アーキテクチャ特別研究Ⅰ	4		
	情報アーキテクチャ特別研究Ⅱ	6		
	ネットワークシステム特論	2		
	ロボティクス特論Ⅰ	2		
	ロボティクス特論Ⅱ	2		
知能工学専修	知能工学特別研究Ⅰ	4		
	知能工学特別研究Ⅱ	6		
	言語工学特論	2		
	情報論理学特論	2		
情報システム開発工学専修	情報システム開発工学特別研究Ⅰ	4		
	情報システム開発工学特別研究Ⅱ	6		
	システム・ソフトウェア工学特論	2		
	情報ネットワーク特論	2		
	情報セキュリティ特論	2		
メディア工学専修	メディア工学特別研究Ⅰ	4		
	メディア工学特別研究Ⅱ	6		
	音声情報処理特論	2		
	画像情報処理特論	2		

1　学生の標準修業年限は２年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得しなければならない。

2　学生は、一つの専修部門を選択し、そのうちの一つの特別研究（Ⅰ・Ⅱ）を選ぶものとする。

3　前項の特別研究の担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について指導教員の指導を受けるものとする。

4　第１項の30単位は、次の区分によって修得しなければならない。

⑴　選択した専修部門の特別研究Ⅰ（４単位）及び特別研究Ⅱ（６単位）は、必修とする。

⑵　授業科目の中から20単位以上を履修する。

⑶　指導教員が必要と認めた場合は、他の専攻若しくは研究科の授業科目、又は他大学大学院の授業科目を履修し、これを前号の単位にあてることができる。

第４　化学システム工学専攻博士課程前期の授業科目、単位及び履修方法

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
プロセスシステム工学専修	プロセスシステム工学特別研究	6	非専修	化学プロセス特論	2
	プロセスシステム工学特別実験	4		プロセス設計特論	2
	プロセスシステム工学特論	4		プロセス制御特論	2
複合材料専修	複合材料特別研究	6		バイオマス変換工学特論	2
	複合材料特別実験	4		エネルギー物質化学特論	2
	複合材料特論	4		高分子化学特論	2
界面プロセス工学専修	界面プロセス工学特別研究	6		輸送現象特論	2
	界面プロセス工学特別実験	4		界面プロセス工学特論	2
	物質移動工学特論	4		無機機能材料特論	2
移動現象工学専修	移動現象工学特別研究	6		触媒工学特論	2
	移動現象工学特別実験	4		流体工学特論	2
	移動現象工学特論	4		伝熱工学特論	2
応用触媒化学専修	応用触媒化学特別研究	6		環境工学特論	2
	応用触媒化学特別実験	4		環境物理学特論	2
	応用触媒化学特論	4		応用数学特論Ⅰ	2
化工流体工学専修	化工流体工学特別研究	6		応用数学特論Ⅱ	2
	化工流体工学特別実験	4		応用物理学特論Ⅰ	2
	化工流体工学特論	4		応用物理学特論Ⅱ	2
反応工学専修	反応工学特別研究	6		化学工学特論Ⅰ	1
	反応工学特別実験	4		化学工学特論Ⅱ	1
	反応工学特論	4		化学工学特論Ⅲ	1
化学安全工学専修	化学安全工学特別研究	6		化学工学特論Ⅳ	1
	化学安全工学特別実験	4		英語論作文スキル特論Ⅰ	2
	化学安全工学特論	4		英語論作文スキル特論Ⅱ	2
工業化学・高分子専修	工業化学・高分子特別研究	6			
	工業化学・高分子特別実験	4			
	工業化学・高分子特論	4			
工業無機化学専修	工業無機化学特別研究	6			
	工業無機化学特別実験	4			
	工業無機化学特論	4			

1　学生の標準修業年限は２年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得するものとする。

2　主要科目のうちから一つの専修部門（特別研究・特別実験・特論）を選定し、これをその学生の専修科目とする。

3　専修科目の特別研究担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受けるものとする。

4　第１項の30単位は、専修科目14単位及び特修科目16単位以上とし、指導教員が必要と認めた場合は、他の専修、専攻又は他の研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

5　修士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

第５　建設工学専攻博士課程前期の授業科目、単位及び履修方法

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
建築学専修	建築学特別研究	6	非専修	弾塑性構造力学特論	2
	建築学特別実験・実習	4		合成構造耐震設計特論	2
社会デザイン工学専修	社会デザイン工学特別研究	6		木質材料構造学特論	2
	社会デザイン工学特別実験・実習	4		橋梁学特論	2
				マトリックス構造解析特論	2
				材料力学史特論	2
				鋼構造弾塑性学特論	2
				鋼構造座屈特論	2
				地震工学特論	2
				応答制御構造特論	2
				建築構造デザイン特論	2
				構造計画特論	2
				コンクリートの材料科学特論	2
				コンクリート工学特論	2
				建設材料の耐久性特論	2
				複合建設材料工学特論	2
				流体シミュレーション特論	2
				環境水理学特論	2
				浄化機能特論	2
				応用生態工学特論	2
				地域・住宅地計画特論	2
				都市計画・まちづくり特論	2
				都市デザイン特論	2
				交通計画特論	2
				地域計画・設計特論	2
				景観学特論	2
				建築熱環境計画特論	2
				建築空気環境計画特論	2
				建築光環境工学特論	2
				建築音環境工学特論	2
				道路舗装工学特論	2
				地盤環境工学特論	2
				地盤防災工学特論	2
				地盤シミュレーション工学特論	2
				建築意匠特論Ⅰ	2
				建築意匠特論Ⅱ	2
				都市史特論	2
				建築史特論	2
				建築設計計画特論	2
				空間計画学特論	2
				建築構造設計学特論	2
				地球環境建築生産特論	2
				建築デサイン演習Ⅰ	4
				建築デザイン演習Ⅱ	4
				建設設計実習Ⅰ	2
				建設設計実習Ⅱ	2
				建設設計実習Ⅲ	2
				建設設計実習Ⅳ	2

1　学生の標準修業年限は２年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得するものとする。

2　主要科目のうちから一つの専修部門（特別研究又は特別実験・実習）を選定し、これをその学生の専修科目とする。

3　専修科目の特別研究担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受けるものとする。

4　第１項の30単位は、専修科目10単位及び特修科目20単位以上とし、指導教員が必要と認めた場合は、他の専攻又は他の研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

5　修士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

第６　エネルギー・環境システム工学専攻博士課程後期の授業科目、単位及び履修方法

（令和6年度入学生）

研究指導科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
熱エネルギー工学専修	熱エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	応用エネルギー特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	熱エネルギー移動現象特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	電力システム工学特論Ａ	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	電力システム工学特論Ｂ	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	誘電体物性工学特論	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	都市排水処理工学特論	2
電気エネルギー工学専修	電気エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	再生資源利用工学特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	建築環境システム特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	都市計画特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	免震・制震設計特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	地盤防災学特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	建築計画特論	2
都市環境工学専修	都市環境工学特別研究Ⅰ	2	舗装・地盤環境工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅱ	2	構造工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅲ	2	橋梁工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅳ	2	交通・都市システム特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅰ	2	建築生産工学特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅱ	2	耐震工学特論	2
環境材料工学専修	環境材料工学特別研究Ⅰ	2	景観デザイン特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅱ	2	住環境デザイン特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅲ	2	材料強度学特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅳ	2	生体材料学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅰ	2	構造材料工学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅱ	2	高分子材料工学特論	2
環境プロセス工学専修	環境プロセス工学特別研究Ⅰ	2	材料強度解析特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅱ	2	機械材料学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅲ	2	界面コロイド工学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅳ	2	環境装置工学特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅰ	2	環境分離工学特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅱ	2	環境適合化学プロセス特論	2
資源循環システム工学専修	資源循環システム工学特別研究Ⅰ	2	環境安全化学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅱ	2	生物材料工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅲ	2	環境工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅳ	2	環境触媒特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅰ	2	廃棄物処理工学特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅱ	2	廃棄物処分システム特論	2
部門共通	インターンシップ	2	建設廃棄物処理特論	2

1　学生の標準修業年限は３年とし、所定の授業科目について、合計16単位以上を修得しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げた者については、１年以上在学すれば足りるものとする。

2　学生は、研究指導科目のうちから選定した一つの部門を専修部門とし、主指導教員及び副指導教員から授業科目の選択、学位論文の作成その他研究全般について指導を受けるものとする。

3　主指導教員は、専修部門の特別研究科目の担当者とする。

4　副指導教員は、専修部門又はこれと関連する部門の担当者のうちから主指導教員が選ぶものとする。

5　第１項の16単位は、原則として次の区分によって修得しなければならない。

⑴　研究指導科目のうちから、必修として専修部門の特別研究科目８単位、選択必修として専修部門の特別演習科目及び部門共通科目のうちから４単位の計12単位

⑵　特修科目から４単位以上

6　主指導教員が必要と認めた場合は、学際プログラム、他専攻、他研究科、全研究科共通科目又は他大学大学院の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

7　博士の学位論文は、専修部門について提出するものとする。

8　主指導教員が認めた場合は、学際プログラムの授業科目を履修することにより課程修了に必要な単位を修得することができる。

9　学際プログラムの授業科目、単位及び履修方法については、別表第７の第８に定める。

（令和4・5年度入学生）

研究指導科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
熱エネルギー工学専修	熱エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	応用エネルギー特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	熱エネルギー移動現象特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	電力システム工学特論A	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	電力システム工学特論B	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	誘電体物性工学特論	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	都市排水処理工学特論	2
電気エネルギー工学専修	電気エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	再生資源利用工学特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	建築環境システム特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	都市計画特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	免震・制震設計特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	地盤防災学特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	建築計画特論	2
都市環境工学専修	都市環境工学特別研究Ⅰ	2	舗装・地盤環境工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅱ	2	構造工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅲ	2	橋梁工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅳ	2	交通・都市システム特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅰ	2	建築生産工学特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅱ	2	耐震工学特論	2
環境材料工学専修	環境材料工学特別研究Ⅰ	2	景観デザイン特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅱ	2	住環境デザイン特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅲ	2	材料強度学特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅳ	2	生体材料学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅰ	2	構造材料工学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅱ	2	高分子材料工学特論	2
環境プロセス工学専修	環境プロセス工学特別研究Ⅰ	2	材料強度解析特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅱ	2	機械材料学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅲ	2	界面コロイド工学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅳ	2	環境装置工学特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅰ	2	環境分離工学特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅱ	2	環境適合化学プロセス特論	2
資源循環システム工学専修	資源循環システム工学特別研究Ⅰ	2	生物材料工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅱ	2	環境工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅲ	2	環境触媒特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅳ	2	廃棄物処理工学特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅰ	2	廃棄物処分システム特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅱ	2	建設廃棄物処理特論	2
部門共通	インターンシップ	2		

1　学生の標準修業年限は3年とし、所定の授業科目について、合計16単位以上を修得しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2　学生は、研究指導科目のうちから選定した一つの部門を専修部門とし、主指導教員及び副指導教員から授業科目の選択、学位論文の作成その他研究全般について指導を受けるものとする。

3　主指導教員は、専修部門の特別研究科目の担当者とする。

4　副指導教員は、専修部門又はこれと関連する部門の担当者のうちから主指導教員が選ぶものとする。

5　第1項の16単位は、原則として次の区分によって修得しなければならない。

⑴　研究指導科目のうちから、必修として専修部門の特別研究科目8単位、選択必修として専修部門の特別演習科目及び部門共通科目のうちから4単位の計12単位

⑵　特修科目から4単位以上

6　主指導教員が必要と認めた場合は、学際プログラム、他専攻、他研究科、全研究科共通科目又は他大学大学院の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

7　博士の学位論文は、専修部門について提出するものとする。

8　主指導教員が認めた場合は、学際プログラムの授業科目を履修することにより課程修了に必要な単位を修得することができる。

9　学際プログラムの授業科目、単位及び履修方法については、別表第7の第8に定める。

（令和2年度入学生）

研究指導科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
熱エネルギー工学専修	熱エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	応用エネルギー特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	熱エネルギー移動現象特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	電力システム工学特論A	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	電力システム工学特論B	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	誘電体物性工学特論	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	都市排水処理工学特論	2
電気エネルギー工学専修	電気エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	再生資源利用工学特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	建築環境システム特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	都市計画特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	免震・制震設計特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	地盤防災学特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	建築計画特論	2
都市環境工学専修	都市環境工学特別研究Ⅰ	2	舗装・地盤環境工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅱ	2	構造工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅲ	2	橋梁工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅳ	2	交通・都市システム特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅰ	2	建築生産工学特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅱ	2	耐震工学特論	2
環境材料工学専修	環境材料工学特別研究Ⅰ	2	景観デザイン特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅱ	2	材料強度学特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅲ	2	生体材料学特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅳ	2	構造材料工学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅰ	2	高分子材料工学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅱ	2	材料強度解析特論	2
環境プロセス工学専修	環境プロセス工学特別研究Ⅰ	2	機械材料学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅱ	2	界面コロイド工学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅲ	2	環境装置工学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅳ	2	環境分離工学特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅰ	2	環境適合化学プロセス特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅱ	2	生物材料工学特論	2
資源循環システム工学専修	資源循環システム工学特別研究Ⅰ	2	環境工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅱ	2	環境触媒特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅲ	2	廃棄物処理工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅳ	2	廃棄物処分システム特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅰ	2	建設廃棄物処理特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅱ	2		
部門共通	インターンシップ	2		

1　学生の標準修業年限は3年とし、所定の授業科目について、合計16単位以上を修得しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2　学生は、研究指導科目のうちから選定した一つの部門を専修部門とし、主指導教員及び副指導教員から授業科目の選択、学位論文の作成その他研究全般について指導を受けるものとする。

3　主指導教員は、専修部門の特別研究科目の担当者とする。

4　副指導教員は、専修部門又はこれと関連する部門の担当者のうちから主指導教員が選ぶものとする。

5　第1項の16単位は、原則として次の区分によって修得しなければならない。

⑴　研究指導科目のうちから、必修として専修部門の特別研究科目8単位、選択必修として専修部門の特別演習科目及び部門共通科目のうちから4単位の計12単位

⑵　特修科目から4単位以上

6　主指導教員が必要と認めた場合は、学際プログラム、他専攻、他研究科、全研究科共通科目又は他大学大学院の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

7　博士の学位論文は、専修部門について提出するものとする。

8　主指導教員が認めた場合は、学際プログラムの授業科目を履修することにより課程修了に必要な単位を修得することができる。

9　学際プログラムの授業科目、単位及び履修方法については、別表第7の第8に定める。

第７　情報・制御システム工学専攻博士課程後期の授業科目、単位及び履修方法

（令和6年度入学生）

研究指導科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
情報処理工学専修	情報処理工学特別研究Ⅰ	2	言語工学特論A	2
	情報処理工学特別研究Ⅱ	2	言語工学特論B	2
	情報処理工学特別研究Ⅲ	2	知能処理特論A	2
	情報処理工学特別研究Ⅳ	2	知能処理特論B	2
	情報処理工学特別研究Ⅴ	2	知能処理特論C	2
	情報処理工学特別研究Ⅵ	2	情報処理工学特論A	2
情報伝送工学専修	情報伝送工学特別研究Ⅰ	2	情報処理工学特論B	2
	情報伝送工学特別研究Ⅱ	2	情報処理工学特論C	2
	情報伝送工学特別研究Ⅲ	2	情報処理工学特論D	2
	情報伝送工学特別研究Ⅳ	2	伝送素子特論	2
	情報伝送工学特別研究Ⅴ	2	情報伝送工学特論A	2
	情報伝送工学特別研究Ⅵ	2	情報伝送工学特論B	2
システム制御工学専修	システム制御工学特別研究Ⅰ	2	情報伝送工学特論C	2
	システム制御工学特別研究Ⅱ	2	情報伝送工学特論D	2
	システム制御工学特別研究Ⅲ	2	パワーエレクトロニクス特論A	2
	システム制御工学特別研究Ⅳ	2	パワーエレクトロニクス特論B	2
	システム制御工学特別研究Ⅴ	2	機械システム制御特論A	2
	システム制御工学特別研究Ⅵ	2	機械システム制御特論B	2
機能デバイス工学専修	機能デバイス工学特別研究Ⅰ	2	機械システム制御特論C	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅱ	2	機能デバイス工学特論A	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅲ	2	機能デバイス工学特論B	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅳ	2	機能デバイス工学特論C	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅴ	2	機能デバイス工学特論D	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅵ	2	デバイス材料工学特論	2
部門共通	インターンシップ	2		

1　学生の標準修業年限は３年とし、所定の授業科目について、合計16単位以上を修得しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げた者については、１年以上在学すれば足りるものとする。

2　学生は、研究指導科目のうちから選定した一つの部門を専修部門とし、主指導教員及び副指導教員から授業科目の選択、学位論文の作成その他研究全般について指導を受けるものとする。

3　主指導教員は、専修部門の特別研究科目の担当者とする。

4　副指導教員は、専修部門又はこれと関連する部門の担当者のうちから主指導教員が選ぶものとする。

5　第１項の16単位は、原則として次の区分によって修得しなければならない。

⑴　研究指導科目のうちから、必修として専修部門の特別研究のⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ８単位、選択必修として専修部門の特別研究のⅤ、Ⅵ及び部門共通科目のうちから４単位、計12単位

⑵　特修科目から４単位以上

6　主指導教員が必要と認めた場合は、学際プログラム、他専攻、他研究科、全研究科共通科目又は他大学大学院の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

7　博士の学位論文は、専修部門について提出するものとする。

8　主指導教員が認めた場合は、学際プログラムの授業科目を履修することにより課程修了に必要な単位を修得することができる。

9　学際プログラムの授業科目、単位及び履修方法については、別表第７の第８に定める。

（令和4年度入学生）

研究指導科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
情報処理工学専修	情報処理工学特別研究Ⅰ	2	言語工学特論A	2
	情報処理工学特別研究Ⅱ	2	言語工学特論B	2
	情報処理工学特別研究Ⅲ	2	知能処理特論A	2
	情報処理工学特別研究Ⅳ	2	知能処理特論B	2
	情報処理工学特別演習Ⅰ	2	知能処理特論C	2
	情報処理工学特別演習Ⅱ	2	情報処理工学特論A	2
情報伝送工学専修	情報伝送工学特別研究Ⅰ	2	情報処理工学特論B	2
	情報伝送工学特別研究Ⅱ	2	情報処理工学特論C	2
	情報伝送工学特別研究Ⅲ	2	情報処理工学特論D	2
	情報伝送工学特別研究Ⅳ	2	伝送素子特論	2
	情報伝送工学特別演習Ⅰ	2	情報伝送工学特論A	2
	情報伝送工学特別演習Ⅱ	2	情報伝送工学特論B	2
システム制御工学専修	システム制御工学特別研究Ⅰ	2	情報伝送工学特論C	2
	システム制御工学特別研究Ⅱ	2	情報伝送工学特論D	2
	システム制御工学特別研究Ⅲ	2	パワーエレクトロニクス特論A	2
	システム制御工学特別研究Ⅳ	2	パワーエレクトロニクス特論B	2
	システム制御工学特別演習Ⅰ	2	機械システム制御特論A	2
	システム制御工学特別演習Ⅱ	2	機械システム制御特論B	2
機能デバイス工学専修	機能デバイス工学特別研究Ⅰ	2	機械システム制御特論C	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅱ	2	機能デバイス工学特論A	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅲ	2	機能デバイス工学特論B	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅳ	2	機能デバイス工学特論C	2
	機能デバイス工学特別演習Ⅰ	2	機能デバイス工学特論D	2
	機能デバイス工学特別演習Ⅱ	2	デバイス材料工学特論	2
部門共通	インターンシップ	2		

1　学生の標準修業年限は3年とし、所定の授業科目について、合計16単位以上を修得しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2　学生は、研究指導科目のうちから選定した一つの部門を専修部門とし、主指導教員及び副指導教員から授業科目の選択、学位論文の作成その他研究全般について指導を受けるものとする。

3　主指導教員は、専修部門の特別研究科目の担当者とする。

4　副指導教員は、専修部門又はこれと関連する部門の担当者のうちから主指導教員が選ぶものとする。

5　第1項の16単位は、原則として次の区分によって修得しなければならない。

(1)　研究指導科目のうちから、必修として専修部門の特別研究科目8単位、選択必修として専修部門の特別演習科目及び部門共通科目のうちから4単位の計12単位

(2)　特修科目から4単位以上

6　主指導教員が必要と認めた場合は、学際プログラム、他専攻、他研究科、全研究科共通科目又は他大学大学院の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

7　博士の学位論文は、専修部門について提出するものとする。

8　主指導教員が認めた場合は、学際プログラムの授業科目を履修することにより課程修了に必要な単位を修得することができる。

9　学際プログラムの授業科目、単位及び履修方法については、別表第7の第8に定める。

第８　工学研究科博士課程後期における学際プログラムの授業科目、単位及び履修方法

部門	研究指導科目		特修科目	
	授業科目	単位数	授業科目	単位数
アグリシステム工学プログラム	バイオマス利用工学特別研究Ⅰ	2	発酵工学特論	2
	バイオマス利用工学特別研究Ⅱ	2	環境プロセス工学特論	2
	バイオマス利用工学特別研究Ⅲ	2	バイオマテリアル特論	2
	バイオマス利用工学特別研究Ⅳ	2	アグリプロセス特論	2
	バイオマス利用工学特別演習Ⅰ	2	スマートアグリ特論	2
	バイオマス利用工学特別演習Ⅱ	2	アグリビジネス特論	2
	アグリプロセス工学特別研究Ⅰ	2		
	アグリプロセス工学特別研究Ⅱ	2		
	アグリプロセス工学特別研究Ⅲ	2		
	アグリプロセス工学特別研究Ⅳ	2		
	アグリプロセス工学特別演習Ⅰ	2		
	アグリプロセス工学特別演習Ⅱ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅰ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅱ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅲ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅳ	2		
	スマートアグリ特別演習Ⅰ	2		
	スマートアグリ特別演習Ⅱ	2		
都市建設工学プログラム	建築耐震工学特別研究Ⅰ	2	建築耐震性能評価特論	2
	建築耐震工学特別研究Ⅱ	2	道路地盤保全システム特論	2
	建築耐震工学特別研究Ⅲ	2	建築免震・制震性能評価特論	2
	建築耐震工学特別研究Ⅳ	2	都市基盤保全システム特論	2
	建築耐震工学特別演習Ⅰ	2	都市交通政策特論	2
	建築耐震工学特別演習Ⅱ	2	都市環境情報システム特論	2
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅰ	2		
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅱ	2		
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅲ	2		
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅳ	2		
	道路地盤保全システム工学特別演習Ⅰ	2		
	道路地盤保全システム工学特別演習Ⅱ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅰ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅱ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅲ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅳ	2		
	建築免震・制震設計特別演習Ⅰ	2		
	建築免震・制震設計特別演習Ⅱ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅰ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅱ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅲ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅳ	2		
	維持管理システム工学特別演習Ⅰ	2		
	維持管理システム工学特別演習Ⅱ	2		

共通科目	
授業科目	単位数
インターンシップ	2
公共政策学特論	2
経済マネジメント特論	2
防災通信特論	2

1　学生の標準修業年限は３年とし、所定の授業科目について、合計16単位以上を修得しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げた者については、１年以上在学すれば足りるものとする。

2　学生は、研究指導科目のうちから主指導教員が担当する一つの授業科目群を選定し、主指導教員及び副指導教員から授業科目の選択、学位論文の作成その他研究全般について指導を受けるものとする。

3　主指導教員は、特別研究科目の担当者とする。

4　副指導教員は、主指導教員が選ぶものとする。

5　第１項の16単位は、原則として次の区分によって修得しなければならない。

⑴　研究指導科目のうちから、必修として特別研究科目８単位、選択必修として特別演習科目及び共通科目のうちから４単位の計12単位

⑵　特修科目から４単位以上

6　主指導教員が必要と認めた場合は、所属する専攻、他専攻、他研究科、全研究科共通科目又は他大学大学院の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。

7　博士の学位論文は、部門について提出するものとする。

第９　資源循環・環境工学専攻修士課程の授業科目、単位及び履修方法

主要科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
資源循環工学専修	資源循環工学特別研究	8	耐久性制御工学特論	2
	資源循環工学特別実験・実習	4	材料特性特論	2
環境化学制御専修	環境化学制御特別研究	8	資源循環型経済システム特論	2
	環境化学制御特別実験・実習	4	廃棄物管理システム特論	2
環境生態制御専修	環境生態制御特別研究	8	グリーン物流計画特論	2
	環境生態制御特別実験・実習	4	汚染物質処理特論	2
地域環境専修	地域環境特別研究	8	環境化学装置特論	2
	地域環境特別実験・実習	4	環境化学特論	2
環境マネジメント専修	環境マネジメント特別研究	8	水質管理システム特論	2
	環境マネジメント特別実習	4	エネルギー変換工学特論	2
東アジア文化環境専修	東アジア文化環境特別研究	8	廃棄物資源循環工学特論	2
	東アジア文化環境特別実習	4	環境微生物工学特論	2
共通必修科目			水圏生態学特論	2
授業科目		単位数	土壌生態学特論	2
資源循環総合演習		6	環境アセスメント特論	2
実践的環境教育総合実習Ⅰ		2	環境調和型都市計画特論	2
共通選択科目			国際環境計画特論	2
授業科目		単位数	環境法特論	2
実践的環境教育総合実習Ⅱ		2	環境情報学特論	2
			コミュニケーションスキル特論	2
			環境データ解析特論	2
			環境行政学特論	2
			環境物理学特論	2
			中国文化環境特論	2
			韓国朝鮮文化環境特論	2
			環境監査特論Ⅰ	2
			環境監査特論Ⅱ	2
			英語論作文スキル特論Ⅰ	2
			英語論作文スキル特論Ⅱ	2

1　学生の標準修業年限は２年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得するものとする。
2　主要科目のうちから１専修部門を選定し、これをその学生の専修科目とする。
3　専修科目の特別研究担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受けるものとする。
4　第１項の30単位は、専修科目12単位・共通必修科目８単位・共通選択科目及び特修科目の合計単位とする。指導教員が必要と認めた場合は、他の専攻及び研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。
5　修士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

工　学　研　究　科

機械工学専攻

資格	氏　名	担　当　科　目 博　士　課　程　前　期	研究室内線
教授	岩　村　誠　人	機械力学・制御特別研究 機械力学特論	6313
	遠　藤　正　浩	材料力学特別研究 材料力学特論Ⅰ	6319
	高　尾　幸　来	熱工学特別研究 熱機関特論	6310
	森　山　茂　章	機械設計・工作法特別研究 機械設計特論	6315
	柳　瀬　圭　児	材料力学特別研究 材料力学特論Ⅱ	6312
	山　辺　純一郎	機械設計・工作法特別研究 工作法特論	6318
准教授	安　東　洋　一	流体力学特論	6314
	宮　田　一　司	熱工学特論	6321
	林　　長　軍	機械制御特論	6332

所　属	氏　名	担　当　科　目	研究室内線
理学研究科 教授	宮　原　　慎	応用数学特論Ⅰ	6163
理学研究科 教授	端　山　和　大	解析力学	6161
理学研究科 准教授	政　田　洋　平	応用物理学特論Ⅱ	6149

電気工学専攻

資格	氏　名	担当科目 博士課程前期	研究室内線
教授	江田孝治	電気基礎特別研究 電気基礎特別実験 電気基礎特論Ⅰ 電気基礎特論Ⅱ 信号解析特論 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6362
	小浜輝彦	応用電気工学特別研究 応用電気工学特別実験 応用電気工学特論Ⅰ 応用電気工学特論Ⅱ パルス・ディジタル応用特論 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6346
	篠原正典	電力工学特別研究 電力工学特別実験 電力工学特論Ⅰ 電力工学特論Ⅱ 放電プラズマ特論 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6347
	住吉谷　覚	応用電気工学特別研究 応用電気工学特別実験 応用電気工学特論Ⅰ 応用電気工学特論Ⅱ 環境電気特論 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6361
	西田貴司	電気基礎特別研究 電気基礎特別実験 電気基礎特論Ⅰ 電気基礎特論Ⅱ 応用物理学特論 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6344
	根葉保彦	パワーエレクトロニクス特別研究 パワーエレクトロニクス特別実験 パワーエレクトロニクス特論Ⅰ パワーエレクトロニクス特論Ⅱ 電気回路特論 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6342
	孟　志奇	電気基礎特別研究 電気基礎特別実験 電気基礎特論Ⅰ 電気基礎特論Ⅱ 電磁解析特論 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6368

資格	氏　名	担　当　科　目 博　士　課　程　前　期	研究室内線
准教授	高　村　紀　充	電力工学特別実験 電力工学特論Ⅰ 電力工学特論Ⅱ 電気絶縁特論 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6370
	辻　　聡　史	パワーエレクトロニクス特別実験 パワーエレクトロニクス特論Ⅰ パワーエレクトロニクス特論Ⅱ 電気機器応用特論	6345
	松　岡　　毅	応用電気工学特別実験 応用電気工学特論Ⅰ 応用電気工学特論Ⅱ 自動制御特論 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6341
助教	圓　谷　友　紀	電気基礎特別実験 電気エネルギーシステム特論Ⅰ 電気エネルギーシステム特論Ⅱ	6378

所　属	氏　名	担　当　科　目	研究室内線
理学研究科 教授	田　中　尚　人	応用数学特論	6135

電子情報工学専攻

資格	氏名	担当科目 博士課程前期	研究室内線
教授	佐藤寿倫	計算機システム特別研究Ⅰ 計算機システム特別研究Ⅱ 計算機工学特論Ⅱ システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6388
	末次正	集積回路特別研究Ⅰ 集積回路特別研究Ⅱ 電子回路設計特論 固体電子回路特論 システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6394
	鈴木孝将	集積回路特別研究Ⅰ 集積回路特別研究Ⅱ 応用物理学特論 システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6386
	髙橋伸称	メディア工学特別研究Ⅰ メディア工学特別研究Ⅱ 音声情報処理特論 システム開発特別演習 システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6398
	太郎丸眞	通信システム特別研究Ⅰ 通信システム特別研究Ⅱ 移動通信システム特論 システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6383
	鶴田直之	メディア工学特別研究Ⅰ メディア工学特別研究Ⅱ 画像情報処理特論 システム開発特別演習 システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6396
	中西恒夫	情報システム開発工学特別研究Ⅰ 情報システム開発工学特別研究Ⅱ システム・ソフトウェア工学特論 システム開発特別演習 システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6382
	名倉徹	集積回路特別研究Ⅰ 集積回路特別研究Ⅱ 半導体工学特論 集積回路工学特論 システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6390
	文仙正俊	オプトエレクトロニクス特別研究Ⅰ オプトエレクトロニクス特別研究Ⅱ 光エレクトロニクス特論Ⅰ 光エレクトロニクス特論Ⅱ システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6389
	モシニャガ・ワシリー	計算機システム特別研究Ⅰ 計算機システム特別研究Ⅱ 計算機工学特論Ⅰ システム開発特別演習 システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6395
	吉村賢治	知能工学特別研究Ⅰ 知能工学特別研究Ⅱ 言語工学特論 情報論理学特論 システム開発特別演習 システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6403

資格	氏　名	担　当　科　目 博　士　課　程　前　期	研究室内線
准教授	小　野　晋太郎	情報アーキテクチャ特別研究Ⅰ 情報アーキテクチャ特別研究Ⅱ ロボティクス特論Ⅰ ロボティクス特論Ⅱ システム開発特別実習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6385
講師	中　村　　遼	ネットワークシステム特論	6399
助教	請　園　智　玲	システム開発特別演習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6387
	乙　武　北　斗	システム開発特別演習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6408
	橋　本　浩　二	システム開発特別演習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6574
	三　角　　真	システム開発特別演習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6570
	栗　　達	システム開発特別演習 プロジェクト型開発特別演習・実習	6413

所　属	氏　名	担　当　科　目	研究室内線
理学研究科 教授	田　中　尚　人	応用数学特論Ⅰ 応用数学特論Ⅱ	6135
情報基盤センター 教授	奥　村　　勝	情報ネットワーク特論	3001
情報基盤センター 准教授	中　國　真　教	情報セキュリティ特論	3003

（非常勤講師）

現　職	氏　名	担　当　科　目
株式会社 亀井ビジネスソリューションズ 代表取締役	亀　井　重　喜	技術マネージメント特論
株式会社チーム AIBOD 本社　代表取締役	松　尾　久　人	技術マネージメント特論
オフィス三宅 代表	三　宅　賢　治	技術マネージメント特論

化学システム工学専攻

資格	氏名	担当科目 博士課程前期	研究室内線
教授	加藤勝美	化学安全工学特別研究 化学安全工学特別実験 化学安全工学特論 エネルギー物質化学特論	6426
	久保田純	応用触媒化学特別研究 応用触媒化学特別実験 応用触媒化学特論 触媒工学特論	6421
	重松幹二	反応工学特別研究 反応工学特別実験 反応工学特論 バイオマス変換工学特論	6432
	新戸浩幸	界面プロセス工学特別研究 界面プロセス工学特別実験 物質移動工学特論 界面プロセス工学特論	6425
	鈴川一己	化工流体工学特別研究 化工流体工学特別実験 化工流体工学特論 流体工学特論	6430
	野田賢	プロセスシステム工学特別研究 プロセスシステム工学特別実験 プロセスシステム工学特論 プロセス制御特論	6423
	松隈洋介	移動現象工学特別研究 移動現象工学特別実験 移動現象工学特論 輸送現象特論	6431
	三島健司	複合材料特別研究 複合材料特別実験 複合材料特論 プロセス設計特論	6428
准教授	加藤貴史	工業無機化学特別研究 工業無機化学特別実験 工業無機化学特論 無機機能材料特論	6422
	瀬戸弘一	工業化学・高分子特別研究 工業化学・高分子特別実験 工業化学・高分子特論 高分子化学特論	6420
助教	吉原直紀	プロセスシステム工学特別実験	6441

所　　属	氏　　名	担　　当　　科　　目	研究室 内　線
工学研究科 教授	田　中　綾　子	環境工学特論	6461
理学研究科 教授	宮　原　　慎	応用数学特論Ⅰ	6163
理学研究科 准教授	政　田　洋　平	応用物理学特論Ⅱ	6149

（非常勤講師）

現　　職	氏　　名	担　　当　　科　　目
九州大学大学院 農学研究院　特任教授	酒　井　謙　二	化学工学特論Ⅳ
久留米大学 外国語教育研究所　教授	シャテラン・ロバート	英語論作文スキル特論Ⅰ 英語論作文スキル特論Ⅱ
元神戸女学院大学　教授	寺　嶋　正　明	化学工学特論Ⅱ 化学プロセス特論
九州工業大学 大学院 特任教授	中　野　光　一	化学工学特論Ⅲ
九州大学大学院 工学研究院　教授	深　井　　潤	伝熱工学特論
宇部興産株式会社 化学カンパニー医薬 事業部医薬研究所 所長	米　田　健　治	化学工学特論Ⅰ

建設工学専攻

資格	氏名	担当科目 博士課程前期	研究室内線
教授	穴井　謙	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 建築熱環境計画特論 建築空気環境計画特論 建築光環境工学特論 建築音環境工学特論	6517
	池添昌幸	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 空間計画学特論 建築デザイン演習Ⅰ 建築デザイン演習Ⅱ	6510
	堺　純一	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 弾塑性構造力学特論 合成構造耐震設計特論 建設設計実習Ⅰ 建設設計実習Ⅱ 建設設計実習Ⅲ 建設設計実習Ⅳ	6511
	佐藤研一	社会デザイン工学特別研究 社会デザイン工学特別実験・実習 道路舗装工学特論 地盤環境工学特論	6464
	柴田　久	社会デザイン工学特別研究 社会デザイン工学特別実験・実習 都市デザイン特論 景観学特論	6484
	髙山峯夫	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 地震工学特論 応答制御構造特論	6513
	太記祐一	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 都市史特論 建築史特論 建築デザイン演習Ⅰ 建築デザイン演習Ⅱ 建設設計実習Ⅰ 建設設計実習Ⅱ 建設設計実習Ⅲ 建設設計実習Ⅳ	6519
	辰巳　浩	社会デザイン工学特別研究 社会デザイン工学特別実験・実習 都市計画・まちづくり特論 交通計画特論	6483
	趙　翔	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 建築設計計画特論 建築デザイン演習Ⅰ 建築デザイン演習Ⅱ	6518

資格	氏　名	担　当　科　目 博　士　課　程　前　期	研究室内線
教授	村　上　　哲	社会デザイン工学特別研究 社会デザイン工学特別実験・実習 地盤防災工学特論 地盤シミュレーション工学特論	6468
	吉　澤　幹　夫	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 建築構造デザイン特論 構造計画特論	6516
	渡　辺　　浩	社会デザイン工学特別研究 社会デザイン工学特別実験・実習 木質材料構造学特論 橋梁学特論	6465
	渡　辺　亮　一	社会デザイン工学特別研究 社会デザイン工学特別実験・実習 浄化機能特論 応用生態工学特論	6470
准教授	田　中　照　久	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 鋼構造座屈特論 鋼構造弾塑性学特論	6539
	塚　越　雅　幸	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 コンクリートの材料科学特論 建設材料の耐久性特論	6515
	橋　本　彰　博	社会デザイン工学特別研究 社会デザイン工学特別実験・実習 流体シミュレーション特論 環境水理学特論	6477
	櫨　原　弘　貴	社会デザイン工学特別研究 社会デザイン工学特別実験・実習 複合建設材料工学特論 コンクリート工学特論	6476
	宮　崎　慎　也	建築学特別研究 建築学特別実験・実習 地域・住宅地計画特論 建築デザイン演習Ⅰ 建築デザイン演習Ⅱ	6512
助教	四ケ所　高　志	建築学特別実験・実習 建築デザイン演習Ⅰ 建築デザインⅡ	6525
	下　妻　達　也	社会デザイン工学特別実験・実習	6480
	田部井　優　也	社会デザイン工学特別実験・実習	6494
	野　口　雄　太	建築学特別実験・実習 建築デザイン演習Ⅰ 建築デザイン演習Ⅱ	6533
	野　田　り　さ	建築学特別実験・実習 建築デザイン演習Ⅰ 建築デザイン演習Ⅱ	6521
	藤　川　拓　朗	社会デザイン工学特別実験・実習	6481
	松　永　一　郎	建築学特別実験・実習 建築デザイン演習Ⅰ 建築デザイン演習Ⅱ	6530

（非常勤講師）

現　　職	氏　　名	担　　当　　科　　目
ADC 一級建築士 事務所　代表	赤　川　貴　雄	建築意匠特論Ⅱ 建築デザイン演習Ⅰ
元福岡大学教授	稲　田　達　夫	建築構造設計学特論 地球環境建築生産特論
福岡大学名誉教授	黒　瀬　重　幸	地域計画・設計特論
国立研究開発法人 資源循環領域 室長	肴　倉　宏　史	地盤環境工学特論
設計＋制作／建築巧房代表	高　木　正三郎	建築意匠特論Ⅰ 建築デザイン演習Ⅱ
中央大学　理工学部 教授	姫　野　賢　治	道路舗装工学特論

エネルギー・環境システム工学専攻

資格	氏名	担当科目 博士課程後期		研究室内線
教授	穴井　謙	建築環境システム特論		6517
	池添昌幸	住環境デザイン特論		6510
	遠藤正浩	環境材料工学特別研究Ⅰ 環境材料工学特別研究Ⅱ 環境材料工学特別研究Ⅲ 環境材料工学特別研究Ⅳ 環境材料工学特別演習Ⅰ 環境材料工学特別演習Ⅱ 材料強度学特論 インターンシップ		6319
	加藤勝美	環境プロセス工学特別研究Ⅰ 環境プロセス工学特別研究Ⅱ 環境プロセス工学特別研究Ⅲ 環境プロセス工学特別研究Ⅳ 環境プロセス工学特別演習Ⅰ 環境プロセス工学特別演習Ⅱ 環境安全工学特論		6426
	木下幸治	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 構造工学特論		6472
	久保田　純	環境プロセス工学特別研究Ⅰ 環境プロセス工学特別研究Ⅱ 環境プロセス工学特別研究Ⅲ 環境プロセス工学特別研究Ⅳ 環境プロセス工学特別演習Ⅰ 環境プロセス工学特別演習Ⅱ 環境装置工学特論 インターンシップ		6421
	堺　純一	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 耐震工学特論 インターンシップ	建築耐震工学特別研究Ⅰ 建築耐震工学特別研究Ⅱ 建築耐震工学特別研究Ⅲ 建築耐震工学特別研究Ⅳ 建築耐震工学特別演習Ⅰ 建築耐震工学特別演習Ⅱ 建築耐震性能評価特論	6511
	佐藤研一	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 舗装・地盤環境工学特論 インターンシップ	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅰ 道路地盤保全システム工学特別研究Ⅱ 道路地盤保全システム工学特別研究Ⅲ 道路地盤保全システム工学特別研究Ⅳ 道路地盤保全システム工学特別演習Ⅰ 道路地盤保全システム工学特別演習Ⅱ 道路地盤保全システム特論	6464
	重松幹二	環境プロセス工学特別研究Ⅰ 環境プロセス工学特別研究Ⅱ 環境プロセス工学特別研究Ⅲ 環境プロセス工学特別研究Ⅳ 環境プロセス工学特別演習Ⅰ 環境プロセス工学特別演習Ⅱ 生物材料工学特論 インターンシップ	バイオマス利用工学特別研究Ⅰ バイオマス利用工学特別研究Ⅱ バイオマス利用工学特別研究Ⅲ バイオマス利用工学特別研究Ⅳ バイオマス利用工学特別演習Ⅰ バイオマス利用工学特別演習Ⅱ バイオマテリアル特論	6432

資格	氏　名	担当科目 博士課程後期	研究室内線
教授	篠原正典	電気エネルギー工学特別研究Ⅰ 電気エネルギー工学特別研究Ⅱ 電気エネルギー工学特別研究Ⅲ 電気エネルギー工学特別研究Ⅳ 電気エネルギー工学特別演習Ⅰ 電気エネルギー工学特別演習Ⅱ 電力システム工学特論A インターンシップ	6347
	柴田　久	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 景観デザイン特論 インターンシップ	6484
	新戸浩幸	環境プロセス工学特別研究Ⅰ 環境プロセス工学特別研究Ⅱ 環境プロセス工学特別研究Ⅲ 環境プロセス工学特別研究Ⅳ 環境プロセス工学特別演習Ⅰ 環境プロセス工学特別演習Ⅱ 界面コロイド工学特論 インターンシップ	6425
	鈴木慎也	廃棄物処理工学特論	6461
	住吉谷　覚	電力システム工学特論B	6361
	高尾幸来	熱エネルギー工学特別研究Ⅰ 熱エネルギー工学特別研究Ⅱ 熱エネルギー工学特別研究Ⅲ 熱エネルギー工学特別研究Ⅳ 熱エネルギー工学特別演習Ⅰ 熱エネルギー工学特別演習Ⅱ 熱エネルギー移動現象特論 インターンシップ	6310
	髙山峯夫	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 免震・制震設計特論 インターンシップ 建築免震・制震設計特別研究Ⅰ 建築免震・制震設計特別研究Ⅱ 建築免震・制震設計特別研究Ⅲ 建築免震・制震設計特別研究Ⅳ 建築免震・制震設計特別演習Ⅰ 建築免震・制震設計特別演習Ⅱ 建築免震・制震性能評価特論	6513
	辰巳　浩	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 交通・都市システム特論 インターンシップ	6483
	田中綾子	資源循環システム工学特別研究Ⅰ 資源循環システム工学特別研究Ⅱ 資源循環システム工学特別研究Ⅲ 資源循環システム工学特別研究Ⅳ 資源循環システム工学特別演習Ⅰ 資源循環システム工学特別演習Ⅱ 環境工学特論 インターンシップ	6474

資格	氏　名	担当科目 博士課程後期	研究室 内線
教授	趙　翔	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 建築計画特論 インターンシップ	6518
	野田　賢	環境プロセス工学特別研究Ⅰ 環境プロセス工学特別研究Ⅱ 環境プロセス工学特別研究Ⅲ 環境プロセス工学特別研究Ⅳ 環境プロセス工学特別演習Ⅰ 環境プロセス工学特別演習Ⅱ 環境適合化学プロセス特論 インターンシップ アグリプロセス工学特別研究Ⅰ アグリプロセス工学特別研究Ⅱ アグリプロセス工学特別研究Ⅲ アグリプロセス工学特別研究Ⅳ アグリプロセス工学特別演習Ⅰ アグリプロセス工学特別演習Ⅱ アグリプロセス特論	6423
	松隈洋介	環境プロセス工学特別研究Ⅰ 環境プロセス工学特別研究Ⅱ 環境プロセス工学特別研究Ⅲ 環境プロセス工学特別研究Ⅳ 環境プロセス工学特別演習Ⅰ 環境プロセス工学特別演習Ⅱ 環境分離工学特論 インターンシップ	6431
	村上　哲	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 地盤防災学特論 インターンシップ	6468
	森山茂章	環境材料工学特別研究Ⅰ 環境材料工学特別研究Ⅱ 環境材料工学特別研究Ⅲ 環境材料工学特別研究Ⅳ 環境材料工学特別演習Ⅰ 環境材料工学特別演習Ⅱ 生体材料学特論 インターンシップ	6315
	柳瀬圭児	環境材料工学特別研究Ⅰ 環境材料工学特別研究Ⅱ 環境材料工学特別研究Ⅲ 環境材料工学特別研究Ⅳ 環境材料工学特別演習Ⅰ 環境材料工学特別演習Ⅱ 材料強度解析特論 インターンシップ	6312
	山辺純一郎	環境材料工学特別研究Ⅰ 環境材料工学特別研究Ⅱ 環境材料工学特別研究Ⅲ 環境材料工学特別研究Ⅳ 環境材料工学特別演習Ⅰ 環境材料工学特別演習Ⅱ 機械材料学特論 インターンシップ	6318

資格	氏　名	担　当　科　目 博　士　課　程　後　期	研究室 内　線
教授	山　本　俊　浩	資源循環システム工学特別研究Ⅰ 資源循環システム工学特別研究Ⅱ 資源循環システム工学特別研究Ⅲ 資源循環システム工学特別研究Ⅳ 資源循環システム工学特別演習Ⅰ 資源循環システム工学特別演習Ⅱ インターンシップ	6355
	吉　澤　幹　夫	建築生産工学特論	6516
	渡　辺　　浩	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 橋梁工学特論 インターンシップ	6465
	渡　辺　亮　一	都市環境工学特別研究Ⅰ 都市環境工学特別研究Ⅱ 都市環境工学特別研究Ⅲ 都市環境工学特別研究Ⅳ 都市環境工学特別演習Ⅰ 都市環境工学特別演習Ⅱ 都市排水処理工学特論 インターンシップ	6470
准教授	為　田　一　雄	廃棄物処分システム特論	6357
	櫨　原　弘　貴	構造材料工学特論	6476

情報・制御システム工学専攻

資格	氏名	担当科目 博士課程後期	研究室内線
教授	岩村誠人	システム制御工学特別研究Ⅰ システム制御工学特別研究Ⅱ システム制御工学特別研究Ⅲ システム制御工学特別研究Ⅳ システム制御工学特別研究Ⅴ システム制御工学特別研究Ⅵ 機械システム制御特論B インターンシップ	6313
	江田孝治	情報処理工学特論D	6362
	小浜輝彦	システム制御工学特別研究Ⅰ システム制御工学特別研究Ⅱ システム制御工学特別研究Ⅲ システム制御工学特別研究Ⅳ システム制御工学特別研究Ⅴ システム制御工学特別研究Ⅵ パワーエレクトロニクス特論A インターンシップ	6346
	佐藤寿倫	情報処理工学特別研究Ⅰ 情報処理工学特別研究Ⅱ 情報処理工学特別研究Ⅲ 情報処理工学特別研究Ⅳ 情報処理工学特別研究Ⅴ 情報処理工学特別研究Ⅵ 情報処理工学特論A インターンシップ	6388
	末次正	機能デバイス工学特別研究Ⅰ 機能デバイス工学特別研究Ⅱ 機能デバイス工学特別研究Ⅲ 機能デバイス工学特別研究Ⅳ 機能デバイス工学特別研究Ⅴ 機能デバイス工学特別研究Ⅵ 機能デバイス工学特論B インターンシップ	6394
	鈴木孝将	機能デバイス工学特別研究Ⅰ 機能デバイス工学特別研究Ⅱ 機能デバイス工学特別研究Ⅲ 機能デバイス工学特別研究Ⅳ 機能デバイス工学特別研究Ⅴ 機能デバイス工学特別研究Ⅵ デバイス材料工学特論 インターンシップ	6386
	髙橋伸弥	情報処理工学特別研究Ⅰ 情報処理工学特別研究Ⅱ 情報処理工学特別研究Ⅲ 情報処理工学特別研究Ⅳ 情報処理工学特別研究Ⅴ 情報処理工学特別研究Ⅵ 知能処理特論A	6398
	太郎丸眞	情報伝送工学特別研究Ⅰ 情報伝送工学特別研究Ⅱ 情報伝送工学特別研究Ⅲ 情報伝送工学特別研究Ⅳ 情報伝送工学特別研究Ⅴ 情報伝送工学特別研究Ⅵ 情報伝送工学特論A インターンシップ	6383
	鶴田直之	知能処理特論B	6396

資格	氏名	担当科目 博士課程後期		研究室内線
教授	中西恒夫	情報処理工学特別研究Ⅰ 情報処理工学特別研究Ⅱ 情報処理工学特別研究Ⅲ 情報処理工学特別研究Ⅳ 情報処理工学特別研究Ⅴ 情報処理工学特別研究Ⅵ 情報処理工学特論C インターンシップ	スマートアグリ特別研究Ⅰ スマートアグリ特別研究Ⅱ スマートアグリ特別研究Ⅲ スマートアグリ特別研究Ⅳ スマートアグリ特別演習Ⅰ スマートアグリ特別演習Ⅱ スマートアグリ特論	6382
	名倉徹	機能デバイス工学特別研究Ⅰ 機能デバイス工学特別研究Ⅱ 機能デバイス工学特別研究Ⅲ 機能デバイス工学特別研究Ⅳ 機能デバイス工学特別研究Ⅴ 機能デバイス工学特別研究Ⅵ 機能デバイス工学特論D インターンシップ		6390
	根葉保彦	システム制御工学特別研究Ⅰ システム制御工学特別研究Ⅱ システム制御工学特別研究Ⅲ システム制御工学特別研究Ⅳ システム制御工学特別研究Ⅴ システム制御工学特別研究Ⅵ パワーエレクトロニクス特論B インターンシップ		6342
	文仙正俊	機能デバイス工学特別研究Ⅰ 機能デバイス工学特別研究Ⅱ 機能デバイス工学特別研究Ⅲ 機能デバイス工学特別研究Ⅳ 機能デバイス工学特別研究Ⅴ 機能デバイス工学特別研究Ⅵ 機能デバイス工学特論A インターンシップ		6389
	三島健司	機能デバイス工学特別研究Ⅰ 機能デバイス工学特別研究Ⅱ 機能デバイス工学特別研究Ⅲ 機能デバイス工学特別研究Ⅳ 機能デバイス工学特別研究Ⅴ 機能デバイス工学特別研究Ⅵ 機能デバイス工学特論C インターンシップ		6428
	孟志奇	情報伝送工学特別研究Ⅰ 情報伝送工学特別研究Ⅱ 情報伝送工学特別研究Ⅲ 情報伝送工学特別研究Ⅳ 情報伝送工学特別研究Ⅴ 情報伝送工学特別研究Ⅵ 情報伝送工学特別演習Ⅱ 情報伝送工学特論C インターンシップ		6368
	モシニャガ,ワシリー	情報処理工学特別研究Ⅰ 情報処理工学特別研究Ⅱ 情報処理工学特別研究Ⅲ 情報処理工学特別研究Ⅳ 情報処理工学特別研究Ⅴ 情報処理工学特別研究Ⅵ 情報処理工学特論B インターンシップ		6395
	吉村賢治	言語工学特論A 知能処理特論C		6403

資源循環・環境工学専攻

資格	氏　名	担当科目 修士課程	研究室内線
教授	大澤武司	東アジア文化環境特別研究 東アジア文化環境特別実習 中国文化環境特論	3733
	木下幸治	資源循環・環境工学特別研究 資源循環・環境工学特別実験・実習 資源循環総合演習 実践的環境教育総合実習Ⅰ 実践的環境教育総合実習Ⅱ 耐久性制御工学特論 環境データ解析特論	6472
	鈴木慎也	環境生態制御特別研究 環境生態制御特別実験・実習 資源循環総合演習 実践的環境教育総合実習Ⅰ 実践的環境教育総合実習Ⅱ 廃棄物資源循環工学特論	6461
	田中綾子	環境生態制御特別研究 環境生態制御特別実験・実習 資源循環総合演習 実践的環境教育総合実習Ⅰ 実践的環境教育総合実習Ⅱ 土壌生態学特論 コミュニケーションスキル特論	6474
	柳橋泰生	環境マネジメント特別研究 環境マネジメント特別実習 資源循環総合演習 実践的環境教育総合実習Ⅰ 実践的環境教育総合実習Ⅱ 国際環境計画特論 環境行政学特論	6356
	山本俊浩	資源循環工学特別研究 資源循環工学特別実験・実習 資源循環総合演習 実践的環境教育総合実習Ⅰ 実践的環境教育総合実習Ⅱ 材料特性特論	6355
准教授	武下俊宏	環境化学制御特別研究 環境化学制御特別実験・実習 資源循環総合演習 実践的環境教育総合実習Ⅰ 実践的環境教育総合実習Ⅱ 汚染物質処理特論 環境化学装置特論 環境化学特論 環境微生物工学特論	6550
	為田一雄	地域環境特別研究 地域環境特別実験・実習 資源循環総合演習 実践的環境教育総合実習Ⅰ 実践的環境教育総合実習Ⅱ 廃棄物管理システム特論 環境アセスメント特論	6357

所　　属	氏　　名	担　当　科　目	研究室内線
工学研究科 教授	高　尾　幸　来	エネルギー変換工学特論	6310
環境保全センター 准教授	平　田　　修	コミュニケーションスキル特論	3351

（非常勤講師）

現　　職	氏　　名	担　当　科　目
一般財団法人 日本環境衛生センター 西日本支局技術調査役	北　島　保　彦	環境監査特論Ⅱ
久留米大学 外国語教育研究所　教授	シャテラン・ロバート	英語論作文スキル特論Ⅰ 英語論作文スキル特論Ⅱ
元九州外語専門学校 非常勤講師	前　田　結　花	コミュニケーションスキル特論
NPO 法人廃棄物 管理アドバイザー ネットワーク福岡 事務局	真　次　　寛	環境監査特論Ⅰ
一般財団法人 日本環境衛生センター 西日本支局 専任講師	山　口　実　苗	水質管理システム特論